

学校コード F225310107387

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学科関係課程実施学科の設置

注1

届出

注2

滋賀短期大学

デジタルライフビジネス学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人純美禮学園
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	総務課
職名・氏名	課長 太田美穂子
電話番号 (夜間)	077-524-3605
e-mail	soumu@sumire.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

<デジタルライフビジネス学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人純美禮学園

(2) 大学名

滋賀短期大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒520-0803

滋賀県大津市竜が丘24番4号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(アキヤマ モトヒデ) 秋山 元秀 (令和3年4月)		
学長	(アキヤマ モトヒデ) 秋山 元秀 (平成30年4月)		
学科長	(オサナイ コウジ) 小山内 幸治 (令和4年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
デジタルライフビジネス学科 短期大学士(生活ビジネス学)	家政関係 経済学関係	2 年	30 人	2年次 0 人 3年次 人 4年次 人	60 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考					
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期										
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	30人	人	30人	人	人	人	1倍	1倍	1倍	1倍						
志願者数	()	()	()	()	()	()	()	()	21	-	42	-	()	()						()	()	()	()	()
受験者数	()	()	()	()	()	()	()	()	21	-	42	-	()	()						()	()	()	()	()
合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	21	-	42	-	()	()						()	()	()	()	()
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	()	()	19	-	30	-	()	()						()	()	()	()	()
入学定員超過率 B/A									0.63		1													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	19 (-)	- ()	30 [1]	- ()	
2年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	16 [1]	[] ()	
3年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
4年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	19 (-)	[2] (-)	46 [2]	[] ()	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	19人	3人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	3人	1人	就職(1名)、家庭の事情(1名)、除籍(1名)
令和5年度	30人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
合計		3人		3人	1人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{19} = \boxed{15.78} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{30} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<デジタルライフビジネス学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	ことばと人間	1・2前	2								1
	美術をみる目	1・2前	2								1
	音楽とは何か	1・2前	2								1
	近江学入門	1・2前	2								1
	国際地理	1・2後	2								1
	テレビ映像と現代社会	1・2後	2								1
	教育を考える	1・2後	2								1
	心理学	1・2前	2								1
	心と身体へのヘルスケア	1・2前	2								1
	生活文化論	1・2前	2								1
	子ども社会	1・2前	2								1
	子どもの世界	1・2後	2								1
	日本国憲法	1・2前	2								1
	現代の健康	1・2後	2								1
	数の不思議	1・2後	2								1
	データ分析入門	1・2後	2			1					
	健康スポーツ論	1後	1								1
	スポーツ実技 (テニス)	1前	1								1
	スポーツ実技 (フィットネス)	1前	1								1
	スポーツ実技 (バレー)	1前	1								1
	ハカーン柔道 (小ウリング&ゴルフ)	1前・休	1								2
	スポーツ実技 (キャンプ)	1前・休	1								2
	スポーツ実技 (スノースポーツ)	1後・休	1								2
	日本語 I	1前	1							1	
	日本語 II	1後	1							1	
	英語 I	1前	1								1
	英語 II	1後	1								1
	フランス語 I	1前	1								1
	フランス語 II	1後	1								1
	中国語 I	1前	1								1
	中国語 II	1後	1								1
	キャリア基礎演習	1前	1			2		1	1		4
	キャリアデザイン演習	2後	1			2		1	1		1
	環びわ湖単位互換科目	—	8								
	生活文化入門	1前	1			2					4
	子ども理解入門	1前	1								8
	ビジネス入門	1前	1			2					3
小計(37科目)	-	2	58	0	4	0	1	1	0	28	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	ことばと人間 (未開講)	1・2前	2								1
	美術をみる目	1・2前	2								1
	音楽とは何か	1・2前	2								1
	近江学入門	1・2前	2								1
	国際地理	1・2後	2								1
	アジアの言語と文化	2後	2							1	1
	テレビ映像と現代社会 (未開講)	1・2後	2								1
	教育を考える	1・2後	2								1
	心理学	1・2前	2								1
	心と身体へのヘルスケア	1・2前	2								1
	生活文化論 (未開講)	1・2前	2								1
	子ども社会	1・2前	2								1
	子どもの世界	1・2後	2								1
	日本国憲法	1・2前	2								1
	現代の健康	1・2後	2								1
	数の不思議	1・2後	2								1
	データ分析入門 (未開講)	1・2後	2			1					
	健康スポーツ論	1後	1								1
	スポーツ実技 (テニス)	1前	1								1
	スポーツ実技 (フィットネス)	1前	1								1
	スポーツ実技 (バレー)	1前	1								1
	ハカーン柔道 (小ウリング&ゴルフ)	1前・休	1								2
	スポーツ実技 (キャンプ)	1前・休	1								2
	スポーツ実技 (スノースポーツ)	1後・休	1								2
	日本語 I	1前	1							1	
	日本語 II	1後	1							1	
	英語 I	1前	1								1
	英語 II	1後	1								1
	フランス語 I	1前	1								1
	フランス語 II	1後	1								1
	中国語 I	1前	1								1
	中国語 II	1後	1								1
	キャリア基礎演習	1前	1			2		1	1		4
	キャリアデザイン演習	2後	1			2		1	1		1
	データサイエンス・リテラシー	1前	2					1			
	環びわ湖単位互換科目	—	8								
	生活文化入門	1前	1			2					3
子ども理解入門	1前	1								8	
ビジネス入門	1前	1			2					3	
小計(39科目)	-	4	60	0	4	0	1	1	0	27	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	データサイエンス入門	1前	2			1						
	データサイエンス応用	1後		2		1						
	コンピュータリテラシー(データ処理) I	1前	1			1						
	コンピュータリテラシー(データ処理) II	1後	1			1						
	コンピュータリテラシー(情報表現) I	1前	1								1	
	コンピュータリテラシー(情報表現) II	2前	1								1	
	情報処理	1後	2								1	
	情報社会論	2前	2								1	
	経営学概論	1前		2		1						
	簿記会計実務 I	1前	2			1						
	ビジネス法規入門	1前	2								1	
	日本語表現	1前		2					1			
	ウェブデザイン I	1後	2								1	
	ウェブデザイン II	2前	2								1	
	プログラミング I	2前	1								1	
	プログラミング II	2後	1								1	
	CG演習	1後	1								1	
	マルチメディア演習	2前	2								1	
	SNS I	1後	1								1	
	SNS II	2前	1								1	
	SNS起業プロジェクト	2後	1								1	
	デザイン論	2前	2								1	
	ファッションデザイン	1前	2					1				
	ファッションクリエイティブ実習 I	1前	2					1				
	ファッションクリエイティブ実習 II	1後	2					1				
	ハウスプランニング	1後	2								1	
	インテリアデザイン I (理論)	2前	2								1	
	インテリアデザイン II (演習)	2後	1								1	
	ハンドメイドデザイン I	2前	2					1				
	ハンドメイドデザイン II	2後	2					1				
ネイルアートデザイン I	2前	1					1					
ネイルアートデザイン II	2後	1					1					
映像デザイン I (実習)	2前	1								1		
映像デザイン II (実習)	2後	1								1		
ショップマネジメント I	2前	2								1		
ショップマネジメント II	2後	1								1		
ビジネスマナー	1前	2								1		
アントレプレナー論	1後	2			1							
インターネットビジネス	1後	2								1		
イベントプロデュース論	1後	2								1		
イベントプロデュースプロジェクト	2前	1								1		
ファッションマーチャンダイジング	1前	2								1		
ライフ・ファイナンスプランニング	1後	2								1		
フードコーディネート論	2前	2								4		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	データサイエンス入門	1前	2			1						
	データサイエンス応用	1後		2		1						
	コンピュータリテラシー(データ処理) I	1前	1			1				1		
	コンピュータリテラシー(データ処理) II	1後	1			1				1		
	コンピュータリテラシー(情報表現) I	1前	1									1
	コンピュータリテラシー(情報表現) II	2前	1									1
	情報処理	1後	2									1
	情報社会論	2前	2									1
	経営学概論	1前		2		1						
	簿記会計実務 I	1前	2			1						1
	ビジネス法規入門	1前	2									1
	日本語表現	1前		2							1	
	ウェブデザイン I	1後	2								1	
	ウェブデザイン II	2前	2									1
	プログラミング I	2前	1								1	
	プログラミング II	2後	1								1	
	CG演習	1後	1								1	
	マルチメディア演習	2後	2								1	
	SNS I	1後	1								1	
	SNS II	2前	1								1	
	SNS起業プロジェクト	2後	1								1	
	デザイン論	2前	2									1
	ファッションデザイン	1前	2							1		
	ファッションクリエイティブ実習 I	1前	2							1		
	ファッションクリエイティブ実習 II	1後	2							1		
	ハウスプランニング	1前	2									1
	インテリアデザイン I (理論)	2前	2									1
	インテリアデザイン II (演習)	2後	1									1
	ハンドメイドデザイン I	2前	2								1	
	ハンドメイドデザイン II	2後	2								1	
ネイルアートデザイン I	2前	1								1		
ネイルアートデザイン II	2後	1								1		
映像デザイン I (実習)	2前	1									1	
映像デザイン II (実習)	2前	1									1	
ショップマネジメント I	2前	2									1	
ショップマネジメント II	2後	1									1	
ビジネスマナー	1前	2									2	
アントレプレナー論	1後	2			1							
インターネットビジネス	1後	2								1		
イベントプロデュース論	1後	2								1		
イベントプロデュースプロジェクト	2前	1									1	
ファッションマーチャンダイジング	1前	2									1	
ライフ・ファイナンスプランニング	1後	2								1		
フードコーディネート論	2前	2									4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	フードライフデザイン（食品と栄養）	1後		2		1						
	フードライフデザイン（調理と文化）	2前		2		1						
	フードライフ実習Ⅰ	2前		1		1						
	フードライフ実習Ⅱ	2後		1		1						
	カラーコーディネート論	1後		2				1				
	きものコーディネート	2前		2				1				
	ラッピング演習	2後		1								1
	染色演習	2後		2								1
	生活学概論	1後	2									1
	マーケティング	1前		2		1						
	インターンシップⅠ	1前・休		1					1			2
	インターンシップⅡ	1後・休		1					1			2
	地域貢献演習Ⅰ	1後		1		2						2
	地域貢献演習Ⅱ	2後		1		2						2
小計(58科目)	-		18	74	0	4	0	1	1	0	22	
合計(95科目)	-		20	132	0	4	0	1	1	0	48	
卒業要件及び履修方法												
<p>共通科目は、必修2単位、選択から10単位以上を修得し、12単位以上修得する。選択科目は、必修18単位、選択から32単位以上を修得し、50単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：30単位（半期））</p> <p>なお、共通科目の選択科目のうち、英語Ⅰ、英語Ⅱ、フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ、中国語Ⅰ、中国語Ⅱ、日本語Ⅰ、日本語Ⅱから2単位を選択必修とする。</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	フードライフデザイン（食品と栄養）	1後		2		1						
	フードライフデザイン（調理と文化）	2前		2		1						
	フードライフ実習Ⅰ	2前		1		1						
	フードライフ実習Ⅱ	2後		1		1						
	カラーコーディネート論	1前		2						1		
	きものコーディネート	2前		2						1		
	ラッピング演習	2後		1								1
	染色演習	2前		2								1
	生活学概論	1後	2									1
	マーケティング	1前		2		1						
	インターンシップⅠ	1前・休		1							1	2
	インターンシップⅡ	1後・休		1							1	2
	地域貢献演習Ⅰ	1後		1		2				1		2
	地域貢献演習Ⅱ	2後		1		2				1		2
小計(58科目)	-		18	74	0	4	0	2	1	0	24	
合計(97科目)	-		22	134	0	4	0	2	1	0	50	
卒業要件及び履修方法												
<p>共通科目は、必修4単位、選択から8単位以上を修得し、12単位以上修得する。選択科目は、必修18単位、選択から32単位以上を修得し、50単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限：30単位（半期））</p> <p>なお、共通科目の選択科目のうち、英語Ⅰ、英語Ⅱ、フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ、中国語Ⅰ、中国語Ⅱ、日本語Ⅰ、日本語Ⅱから2単位を選択必修とする。</p>												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	ことばと人間	1・2前		2								1
	美術をみる目	1・2前		2								1
	音楽とは何か	1・2前		2								1
	近江学入門	1・2前		2								1
	国際地理	1・2後		2								1
	テレビ映像と現代社会	1・2後		2								1
	教育を考える	1・2後		2								1
	心理学	1・2前		2								1
	心と身体のヘルスケア	1・2前		2								1
	生活文化論	1・2前		2								1
	子ども社会	1・2前		2								1
	子どもの世界	1・2後		2								1
	日本国憲法	1・2前		2								1
	現代の健康	1・2後		2								1
	数の不思議	1・2後		2								1
	データ分析入門 (未開講)	1・2後		2		1						
	健康スポーツ論	1後		1								1
	スポーツ実技 (テニス)	1前		1								1
	スポーツ実技 (フィットネス)	1前		1								1
	スポーツ実技 (バレー)	1前		1								1
	スポーツ実技 (ボウリング&ゴルフ)	1前・休		1								2
	スポーツ実技 (キャンプ)	1前・休		1								2
	スポーツ実技 (スノースポーツ)	1後・休		1								2
	日本語 I	1前		1					1			
	日本語 II	1後		1					1			
	英語 I	1前		1								1
	英語 II	1後		1								1
	フランス語 I	1前		1								1
	フランス語 II	1後		1								1
	中国語 I	1前		1								1
	中国語 II	1後		1								1
	キャリア基礎演習	1前	1			2		1	1			4
	キャリアデザイン演習	2後	1			2		1	1			1
	データサイエンス・リテラシー	1前	2			1						
	環びわ湖単位互換科目	—		8								
	生活文化入門	1前		1		2						3
	子ども理解入門	1前		1								8
	ビジネス入門	1前		1		2						3
小計(38科目)	-		4	58	0	4	0	1	1	0	27	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	データサイエンス入門	1前	2			1						
	データサイエンス応用	1後		2		1						
	コンピュータリテラシー（データ処理）I	1前	1			1		1				
	コンピュータリテラシー（データ処理）II	1後	1			1		1				
	コンピュータリテラシー（情報表現）I	1前	1									1
	コンピュータリテラシー（情報表現）II	2前	1					1				
	情報処理	1後	2									1
	情報社会論	2前	2									1
	経営学概論	1前		2		1						
	簿記会計実務I	1前	2			1						1
	ビジネス法規入門	1前	2									1
	日本語表現	1前		2					1			
	ウェブデザインI	1後		2				1				
	ウェブデザインII	2前		2								1
	プログラミングI	2前		1				1				
	プログラミングII	2後		1								1
	CG演習	1後		1								1
	マルチメディア演習	2後		2								1
	SNS I	1後		1								1
	SNS II	2前		1				1				
	SNS起業プロジェクト	2後		1				1				
専	デザイン論	2前		2								1
門	ファッションデザイン	1前		2				1				
科	ファッションクリエイティブ実習I	1前		2				1				
目	ファッションクリエイティブ実習II	1後		2				1				
	ハウズプランニング	1前		2								1
	インテリアデザインI（理論）	2前		2								1
	インテリアデザインII（演習）	2後		1								1
	ハンドメイドデザインI	2前		2				1				
	ハンドメイドデザインII	2後		2				1				
	ネイルアートデザインI	2前		1				1				
	ネイルアートデザインII	2後		1				1				
	映像デザインI（実習）	2前		1								1
	映像デザインII（実習）	2後		1								1
	ショップマネジメントI	2前		2								1
	ショップマネジメントII	2後		1								1
	ビジネスマナー	1前		2								2
	アントレプレナー論	1後		2		1						
	インターネットビジネス	1後		2		1						
	イベントプロデュース論	1後		2		1						1
	イベントプロデュースプロジェクト	2前		1								1
	ファッションマーチャンダイジング	1前		2								1
	ライフ・ファイナンスプランニング	1後		2		1						
	フードコーディネータ論	2前		2								4
	フードライフデザイン（食品と栄養）	1後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	フードライフデザイン（調理と文化）	2前		2		1						
	フードライフ実習Ⅰ	2前		1		1						
	フードライフ実習Ⅱ	2後		1		1						
	カラーコーディネート論	1前		2				1				
	きものコーディネート	2前		2				1				
	ラッピング演習	2後		1							1	
	染色演習	2後		2								1
	生活学概論	1後	2									1
	マーケティング	1前		2		1						
	インターンシップⅠ	1前・休		1						1		2
	インターンシップⅡ	1後・休		1						1		2
	地域貢献演習Ⅰ	1後		1		2		1				2
	地域貢献演習Ⅱ	2後		1		2		1				2
	小計(58科目)	-		18	74	0	4	0	2	1	0	24
合計(96科目)	-		22	132	0	4	0	2	1	0	50	

卒業要件及び履修方法

共通科目は、必修4単位、選択から8単位以上を修得し、12単位以上修得する。選択科目は、必修18単位、選択から32単位以上を修得し、50単位以上修得すること。（履修科目の登録の上限:30単位(半期)）
 なお、共通科目の選択科目のうち、英語Ⅰ、英語Ⅱ、フランス語Ⅰ、フランス語Ⅱ、中国語Ⅰ、中国語Ⅱ、日本語Ⅰ、日本語Ⅱから2単位を選択必修とする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- ・文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に係る全学的取り組みとして、共通科目「データサイエンス・リテラシー」を新設。
- ・「生活文化入門」の「兼任・兼任」教員を4名から3名に変更。1名が産休・育休で1年間休業するため。
- ・クラス編成の都合により、「コンピュータリテラシー（データ処理）Ⅰ」及び「コンピュータリテラシー（データ処理）Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1」及び「講師1」に変更。
- ・令和4年4月1日付けで情報関連科目担当の専任講師を1名新規採用したため、「コンピュータリテラシー（情報表現）Ⅱ」、「ウェブデザインⅠ」、「プログラミングⅠ」、「SNSⅡ」及び「SNS起業プロジェクト」の教員配置を「兼任・兼任1」から「講師1」に変更。
- ・カリキュラム編成の都合により、「マルチメディア演習」の配当年次を2年前期から2年後期に変更。
- ・カリキュラム編成の都合により、「ハウスプランニング」の配当年次を1年後期から1年前期に変更。
- ・クラス編成の都合により、「簿記会計実務Ⅰ」の教員配置を「教授1」から「教授1」及び「兼任・兼任1」に変更。
- ・クラス編成の都合により、「ビジネスマナー」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・兼任教員の辞退により、「インターネットビジネス」の教員配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・授業内容の充実のため、「イベントプロデュース論」の教員配置を「兼任・兼任1」から「教授1」及び「兼任・兼任1」に変更。
- ・兼任教員の辞退により、「ライフ・ファイナンシャルプランニング」の教員配置を「兼任・兼任1」から「教授1」に変更。
- ・カリキュラム編成の都合により、「カラーコーディネート論」の配当年次を1年後期から1年前期に変更。
- ・授業内容の充実のため、「地域貢献演習Ⅰ」及び「地域貢献演習Ⅱ」の担当教員に「講師1」を追加。

【令和5年度】

- ・共通科目カリキュラムの全学的見直しに伴い「アジアの言語と文化」を新設し、令和4年度入学生にも履修可能とした。
- ・カリキュラム編成の都合により、「映像デザインⅡ（実習）」の配当年次を2年後期から2年前期に変更。
- ・カリキュラム編成の都合により、「染色演習」の配当年次を2年後期から2年前期に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
13 科目	82 科目	0 科目	95 科目	14 科目 [1]	83 科目 [1]	0 科目 []	97 科目 [2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	データ分析入門	2	1・2後	一般	選択	文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」のプログラム構成科目として、令和4年度に「データサイエンス・リテラシー」を新設したため、類似科目の「データ分析入門」を不開講とした。
2	ことばと人間	2	1・2前	一般	選択	令和4年度に入学定員を330人から300人に変更したことに伴い2年連続で入学者数が減少した。これを受け、令和5年度開講の共通科目については、学生数に応じ領域ごとの科目数を調整した結果、「芸術・文化」領域から「ことばと人間」を不開講とすることになった。
3	テレビ映像と現代社会	2	1・2後	一般	選択	令和4年度に入学定員を330人から300人に変更したことに伴い2年連続で入学者数が減少した。これを受け、令和5年度の共通科目については、学生数に応じ領域ごとの開講科目数を調整した結果、「社会・心理」領域から「テレビ映像と現代社会」及び「生活文化論」を不開講とすることになった。
4	生活文化論	2	1・2前	一般	選択	令和4年度に入学定員を330人から300人に変更したことに伴い2年連続で入学者数が減少した。これを受け、令和5年度の共通科目については、学生数に応じ領域ごとの開講科目数を調整した結果、「社会・心理」領域から「テレビ映像と現代社会」及び「生活文化論」を不開講とすることになった。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> ・ 「データ分析入門」については、類似科目「データサイエンス・リテラシー」を、文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」の構成科目として新設し、令和4年度は一部学科を除き、令和5年度からは全学で卒業必修科目として学生に提供している。 ・ 「ことばと人間」、「テレビ映像と現代社会」及び「生活文化論」の不開講については、学生数に対する科目数の適正化を図る大学運営上の措置である。令和4年度入学生に対しては、1年次に選択・受講の機会が与えられていたため、「2年次不開講」の旨を記載したカリキュラム表を配付して周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{95} = \boxed{4.21}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	12,681㎡	㎡	㎡	12,681㎡				
	運動場用地	2,836㎡	㎡	㎡	2,836㎡				
	小 計	15,517㎡	㎡	㎡	15,517㎡				
	そ の 他	5,236㎡	㎡	㎡	5,236㎡				
	合 計	20,753	㎡	㎡	20,753				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		12,813㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	12室	19室	8室	3室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		デジタルライフビジネス学科		32 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学科単位での特定不 能なため、大学全体 の数 令和3年度末に大規 模な蔵書整理を行っ たため、冊数に大幅 な変更が生じた。 令和4年度は大規模 な書庫点検を行った ため、冊数に変更が 生じた。(5)	
	デジタルライフ ビジネス学科	88,253 [3,319] 83,563 [2,897] 90,410 [2988]	140 [20] 251 [10]	1 [0]	310	2	0		
		88,253 [3,319] (83,563 [2,897]) (90,410 [2988])	140 [20] 251 [10]	(1 [0])	(310)	(2)	(0)		
	計	88,253 [3,319] (83,563 [2,897]) (90,410 [2988])	140 [20] 251 [10]	(1 [0])	(310)	(2)	(0)		
(6) 図 書 館		面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
		586 ㎡			100000				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		㎡							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備については前倒 して準備した。
		教員1人当り研究費等	250千円	250千円	図書購入費	359 4,000千円	592 500千円	500千円	
	共同研究費等	1,500千円	1,500千円	設備購入費	5,424 2,000千円	1,557 2,000 5,000千円	2,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,220千円	第2年次 1,020千円	第3年次 千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	滋賀短期大学					平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	開設年度	所在地	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率			
デジタルライフビジネス学科	2	30	-	(60)	短期大学士(生活ビジネス学)	-	-	-	-	-	令和4	滋賀県大津市電が丘24番4号
生活学科	2	80	-	160	短期大学士(生活学)	0.86	-	0.86	-	-	昭和45	同上
幼児教育保育学科	2	100	-	200	短期大学士(幼児教育保育学)	0.8	-	0.8	-	-	昭和45	同上
ビジネスコミュニケーション学科	2	120	-	240	短期大学士(ビジネス)	0.72	-	0.71	-	-	昭和62	同上
大学全体	2	300	-	600	-	0.78	-	0.78	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 (様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。)
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率(控除後含む)」及び「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず赤字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<デジタルライフビジネス学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	小笠原 寛夫 (45) <令和4年4月> 学士(芸術)
		コンピュータリテラシー(情報表現)Ⅱ プログラミングⅠ ウェブデザインⅠ プログラミングⅡ SNSⅠ SNSⅡ
専	特任講師	河村 梨花 (42) <令和4年4月> 短期大学卒
		ファッションクリエイティブ実習Ⅰ ファッションデザイン ファッションクリエイティブ実習Ⅱ カラーコーディネート論 きものコーディネート ハンドメイドデザインⅠ ハンドメイドデザインⅡ ネイルアートデザインⅠ ネイルアートデザインⅡ キャリア基礎演習※ キャリアデザイン演習※
専・兼任	特別教授	小山内 幸治 (65) <令和4年4月> 教育学修士
		ビジネス入門※ キャリア基礎演習※ キャリアデザイン演習※ コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅰ コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅱ 地域貢献演習Ⅰ 地域貢献演習Ⅱ データサイエンス入門 データサイエンス応用 データ分析入門
専・兼任	特別教授	清水 まゆみ (65) <令和4年4月> 博士(農学)
		生活文化入門※ フードライフデザイン(調理とカル)

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	小笠原 寛夫 (45) <令和4年4月> 学士(芸術)
		コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅰ コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅱ コンピュータリテラシー(情報表現)Ⅱ プログラミングⅠ ウェブデザインⅠ 地域貢献演習Ⅰ 地域貢献演習Ⅱ SNSⅡ SNS起業プロジェクト
専	特任講師	河村(江崎) 梨花 (42) <令和4年4月> 短期大学卒
		ファッションクリエイティブ実習Ⅰ ファッションデザイン ファッションクリエイティブ実習Ⅱ カラーコーディネート論 きものコーディネート ハンドメイドデザインⅠ ハンドメイドデザインⅡ ネイルアートデザインⅠ ネイルアートデザインⅡ キャリア基礎演習※ キャリアデザイン演習※
専・兼任	特別教授	小山内 幸治 (66) <令和4年4月> 教育学修士
		ビジネス入門※ キャリア基礎演習※ キャリアデザイン演習※ コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅰ コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅱ 地域貢献演習Ⅰ 地域貢献演習Ⅱ データサイエンス入門 データサイエンス応用 データ分析入門 インターネットビジネス ライフ・フィナンシャルプランニング イベントプロデュース論※ データサイエンス・リテラシー
専・兼任	特別教授	清水 まゆみ (65) <令和4年4月> 博士(農学)
		フードライフデザイン(食品と学業)

【令和5年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	小笠原 寛夫 (46) <令和4年4月> 学士(芸術)
		コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅰ コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅱ コンピュータリテラシー(情報表現)Ⅱ プログラミングⅠ ウェブデザインⅠ 地域貢献演習Ⅰ 地域貢献演習Ⅱ SNSⅡ SNS起業プロジェクト
専	特任講師	河村(江崎) 梨花 (43) <令和4年4月> 短期大学卒
		ファッションクリエイティブ実習Ⅰ ファッションデザイン ファッションクリエイティブ実習Ⅱ カラーコーディネート論 きものコーディネート ハンドメイドデザインⅠ ハンドメイドデザインⅡ ネイルアートデザインⅠ ネイルアートデザインⅡ キャリア基礎演習※ キャリアデザイン演習※
専・兼任	特別教授	小山内 幸治 (67) <令和4年4月> 教育学修士
		ビジネス入門※ キャリア基礎演習※ キャリアデザイン演習※ コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅰ コンピュータリテラシー(データ処理)Ⅱ 地域貢献演習Ⅰ 地域貢献演習Ⅱ データサイエンス入門 データサイエンス応用 データ分析入門 インターネットビジネス ライフ・フィナンシャルプランニング イベントプロデュース論※ データサイエンス・リテラシー
専・兼任	特別教授	清水 まゆみ (66) <令和4年4月> 博士(農学)
		フードライフデザイン(食品と学業)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		フードライフ実習Ⅰ フードライフ実習Ⅱ
専・兼任	教授	中平 真由巳 (56) ＜令和4年4月＞ 修士(家政学)
		生活文化入門※ フードライフデザイン(調理と文化) フードライフ実習Ⅰ フードライフ実習Ⅱ
専・兼任	教授	江見 和明 (53) ＜令和4年4月＞ 修士(経営学)
		ビジネス入門※ キャリア基礎演習※ キャリアデザイン演習※ 経営学概論 簿記会計実務Ⅰ アントレプレナー論 マーケティング 地域貢献演習Ⅰ 地域貢献演習Ⅱ
専・兼任	特任助教	清水 美里 (29) ＜令和4年4月＞ 修士(言語文化学)
		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語表現 キャリア基礎演習※ キャリアデザイン演習※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	教授	笹倉 千佳弘 (63) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		生活文化入門※ 子ども社会 教育を考える
兼任	教授	石井 明 (63) ＜令和4年4月＞ 専門学校卒
		生活文化入門※
兼任	講師	山岡 ひとみ (42) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		生活文化入門※
兼任	助教	灰藤 友理子 (30) ＜令和4年4月＞ 学士(家政学)
		ラッピング演習 生活文化入門※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		生活文化入門※
専・兼任	教授	中平 真由巳 (56) ＜令和4年4月＞ 修士(家政学)
		生活文化入門※ フードライフデザイン(調理と文化) フードライフ実習Ⅰ フードライフ実習Ⅱ
専・兼任	教授	江見 和明 (53) ＜令和4年4月＞ 修士(経営学)
		ビジネス入門※ キャリア基礎演習※ キャリアデザイン演習※ 経営学概論 簿記会計実務Ⅰ アントレプレナー論 マーケティング 地域貢献演習Ⅰ 地域貢献演習Ⅱ
専・兼任	特任助教	清水 美里 (29) ＜令和4年4月＞ 修士(言語文化学)
		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語表現 キャリア基礎演習※ キャリアデザイン演習※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	教授	笹倉 千佳弘 (63) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		生活文化入門※ 子ども社会 教育を考える
兼任	教授	石井 明 (63) ＜令和4年4月＞ 専門学校卒
		生活文化入門※
兼任	助教	灰藤 友理子 (31) ＜令和4年4月＞ 学士(家政学)
		ラッピング演習 生活文化入門※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		生活文化入門※
専・兼任	教授	中平 真由巳 (57) ＜令和4年4月＞ 修士(家政学)
		生活文化入門※ フードライフデザイン(調理と文化) フードライフ実習Ⅰ フードライフ実習Ⅱ
専・兼任	教授	江見 和明 (54) ＜令和4年4月＞ 修士(経営学)
		ビジネス入門※ キャリア基礎演習※ キャリアデザイン演習※ 経営学概論 簿記会計実務Ⅰ アントレプレナー論 マーケティング 地域貢献演習Ⅰ 地域貢献演習Ⅱ
専・兼任	特任助教	清水 美里 (30) ＜令和4年4月＞ 修士(言語文化学)
		日本語Ⅰ 日本語Ⅱ 日本語表現 キャリア基礎演習※ キャリアデザイン演習※ インターンシップⅠ インターンシップⅡ アジアの言語と文化※
兼任	教授	笹倉 千佳弘 (64) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		生活文化入門※ 子ども社会 教育を考える
兼任	教授	石井 明 (64) ＜令和4年4月＞ 専門学校卒
		生活文化入門※
兼任	講師	灰藤 友理子 (32) ＜令和4年4月＞ 学士(家政学)
		ラッピング演習 生活文化入門※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	沖山 圭子 ＜令和4年4月＞ (59) 教育学士
		ビジネス入門※ キャリア基礎演習※
兼任	教授	山中 博史 (64) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		スポーツ実技(テニス) スポーツ実技(ボウリング& ゴルフ) スポーツ実技(キャンプ) スポーツ実技(スノースポーツ) キャリア基礎演習※
兼任	教授	田中 裕之 (51) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		現代の健康 ビジネス入門※ キャリア基礎演習※
兼任	特別 准教授	若生 真理子 (65) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		地域貢献演習Ⅰ 地域貢献演習Ⅱ インターンシップⅠ インターンシップⅡ ビジネスマナー
兼任	特任 准教授	菰 寛美 (59) ＜令和4年4月＞ 文学士
		地域貢献演習Ⅰ 地域貢献演習Ⅱ インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	講師	伊澤 亮介 (43) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)(言語文化学)
		ビジネス入門※ キャリア基礎演習※ キャリアデザイン演習※
兼任	教授(学 長)	秋山 元秀 (73) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		近江学入門 国際地理
兼任	教授	北尾 岳夫 (55) ＜令和4年4月＞ 修士(体育学)
		子ども理解入門※ スポーツ実技(フィットネス) スポーツ実技(ボウリング&ゴ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	沖山 圭子 ＜令和4年4月＞ (59) 教育学士
		ビジネス入門※ キャリア基礎演習※
兼任	教授	山中 博史 (64) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		スポーツ実技(テニス) スポーツ実技(ボウリング& ゴルフ) スポーツ実技(キャンプ) スポーツ実技(スノースポーツ) キャリア基礎演習※
兼任	教授	田中 裕之 (51) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		現代の健康 ビジネス入門※ キャリア基礎演習※
兼任	特別 准教授	若生 真理子 (65) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		地域貢献演習Ⅰ 地域貢献演習Ⅱ インターンシップⅠ インターンシップⅡ ビジネスマナー
兼任	特任 准教授	菰 寛美 (59) ＜令和4年4月＞ 文学士
		地域貢献演習Ⅰ 地域貢献演習Ⅱ インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	講師	伊澤 亮介 (43) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)(言語文化学)
		ビジネス入門※ キャリア基礎演習※ キャリアデザイン演習※
兼任	教授(学 長)	秋山 元秀 (73) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		近江学入門 国際地理
兼任	教授	北尾 岳夫 (55) ＜令和4年4月＞ 修士(体育学)
		子ども理解入門※ スポーツ実技(フィットネス) スポーツ実技(ボウリング&ゴ

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	沖山 圭子 ＜令和4年4月＞ (60) 教育学士
		ビジネス入門※ キャリア基礎演習※
兼任	講師	山中 博史 (65) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		スポーツ実技(テニス) スポーツ実技(ボウリング &ゴルフ)
兼任	教授	田中 裕之 (52) ＜令和4年4月＞ 博士(医学)
		現代の健康 ビジネス入門※ キャリア基礎演習※
兼任	特別 准教授	若生 真理子 (66) ＜令和4年4月＞ 修士(学術)
		地域貢献演習Ⅰ 地域貢献演習Ⅱ インターンシップⅠ インターンシップⅡ ビジネスマナー
兼任	特任 准教授	菰 寛美 (60) ＜令和4年4月＞ 文学士
		地域貢献演習Ⅰ 地域貢献演習Ⅱ インターンシップⅠ インターンシップⅡ
兼任	講師	伊澤 亮介 (44) ＜令和4年4月＞ 博士(言語文化学)
		ビジネス入門※ キャリア基礎演習※ キャリアデザイン演習※ アジアの言語と文化※
兼任	教授(学 長)	秋山 元秀 (74) ＜令和4年4月＞ 文学修士
		近江学入門 国際地理
兼任	教授	北尾 岳夫 (56) ＜令和4年4月＞ 修士(体育学)
		子ども理解入門※ スポーツ実技(フィットネス) スポーツ実技(ボウリング&ゴ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		ルフ スポーツ実技(キャンプ) スポーツ実技(スノースポーツ)
兼担	教授	深尾 秀一 (64) ＜令和4年4月＞ 美術学士(米国)
		美術をみる目 子ども理解入門※
兼担	教授	柚木 たまみ (60) ＜令和4年4月＞ 芸術学士
		音楽とは何か 子ども理解入門※
兼担	特任教授	永久 欣也 (69) ＜令和4年4月＞ 修士(国際関係学)
		子ども理解入門※
兼担	准教授	久米 央也 (61) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		数の不思議 子ども理解入門※
兼担	准教授	松井 典子 (45) ＜令和4年4月＞ Master of Music Studies(豪州)
		子ども理解入門※
兼担	准教授	李(山田) 霞 (43) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		子ども理解入門※
兼担	准教授	三上 佳子 (63) ＜令和4年4月＞ 短期大学卒
		子ども理解入門※
兼担	准教授	松村 都子 (58) ＜令和4年4月＞ 短期大学卒
		子どもの世界

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		スポーツ実技(ホフアングレ &ゴルフ) スポーツ実技(キャンプ) スポーツ実技(スノースポーツ)
兼担	教授	深尾 秀一 (64) ＜令和4年4月＞ 美術学士(米国)
		美術をみる目 子ども理解入門※
兼任	教授	柚木 たまみ (60) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		音楽とは何か 子ども理解入門※
兼担	特任教授	永久 欣也 (69) ＜令和4年4月＞ 修士(国際関係学)
		子ども理解入門※
兼任	教授	久米 央也 (61) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		数の不思議 子ども理解入門※
兼担	准教授	松井 典子 (45) ＜令和4年4月＞ Master of Music Studies(豪州)
		子ども理解入門※
兼任	准教授	李(山田) 霞 (43) ＜令和4年4月＞ 博士(教育学)
		子ども理解入門※
兼担	准教授	三上 佳子 (63) ＜令和4年4月＞ 短期大学卒
		子ども理解入門※
兼担	准教授	松村 都子 (58) ＜令和4年4月＞ 短期大学卒
		子どもの世界

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
		スポーツ実技(ホフアングレ &ゴルフ) スポーツ実技(キャンプ) スポーツ実技(スノースポーツ)
兼担	特別教授	深尾 秀一 (65) ＜令和4年4月＞ 美術学士(米国)
		美術をみる目 子ども理解入門※
兼任	教授	柚木 たまみ (61) ＜令和4年4月＞ 修士(教育学)
		音楽とは何か 子ども理解入門※
兼任	教授	久米 央也 (62) ＜令和4年4月＞ 教育学士
		数の不思議 子ども理解入門※
兼担	准教授	松井 典子 (46) ＜令和4年4月＞ Master of Music Studies(豪州)
		子ども理解入門※
兼担	准教授	三上 佳子 (64) ＜令和4年4月＞ 短期大学卒
		子ども理解入門※
兼担	准教授	松村 都子 (59) ＜令和4年4月＞ 短期大学卒
		子どもの世界

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山本 洋明 (32) ＜令和4年4月＞ 学士(学術)
		ウェブデザインⅡ CG演習 マルチメディア演習
兼任	講師	武内 康則 (39) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		ことばと人間
兼任	講師	神村 有紀 (51) ＜令和4年4月＞ 修士(社会学)
		心と身体のヘルスケア
兼任	講師	北 憲一 (61) ＜令和4年4月＞ 経済学士
		コンピュータリテラシー(情報表現)Ⅰ
兼任	講師	木谷 康子 (63) ＜令和4年4月＞ 家政学修士
		ハウスプランニング 生活学概論 インテリアデザインⅠ(理論) インテリアデザインⅡ(演習)
兼任	講師	篠 直樹 (34) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
		柴田 秀樹 (34) ＜令和4年4月＞

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山本 洋明 (32) ＜令和4年4月＞ 学士(学術)
		ウェブデザインⅡ CG演習 マルチメディア演習 SNSⅠ
兼任	講師	武内 康則 (39) ＜令和4年4月＞ 博士(文学)
		ことばと人間
兼任	講師	神村 有紀 (51) ＜令和4年4月＞ 修士(社会学)
		心と身体のヘルスケア
兼任	講師	北 憲一 (62) ＜令和4年4月＞ 経済学士
		コンピュータリテラシー(情報表現)Ⅰ
兼任	講師	木谷 康子 (63) ＜令和4年4月＞ 家政学修士
		ハウスプランニング 生活学概論 インテリアデザインⅠ(理論) インテリアデザインⅡ(演習)
兼任	講師	篠 直樹 (34) ＜令和4年4月＞ 修士(文学)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
		柴田 秀樹 (34) ＜令和4年4月＞

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	山本 洋明 (33) ＜令和4年4月＞ 学士(学術)
		ウェブデザインⅡ CG演習 マルチメディア演習 SNSⅠ
兼任	講師	北 憲一 (63) ＜令和4年4月＞ 経済学士
		コンピュータリテラシー(情報表現)Ⅰ
兼任	講師	木谷 康子 (64) ＜令和4年4月＞ 家政学修士
		ハウスプランニング 生活学概論
兼任	講師	名和 宏晃 (54) ＜令和5年4月＞ 経営学士
		インテリアデザインⅠ(理論)
兼任	講師	河本 浩司 (51) ＜令和5年4月＞ 専門学校卒
		インテリアデザインⅡ(演習)
兼任	特任准教授	菟 寛美 (60) ＜令和5年4月＞ 文学士
		英語Ⅰ 英語Ⅱ
		柴田 秀樹 (35) ＜令和4年4月＞

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	修士(文学)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	田島 等 (64) <令和4年4月> 芸術学士
		ファッションマーチャンダイジング
兼任	講師	菅本(谷口) 祐子 (44) <令和5年4月> MA Fine Art(英国)
		デザイン論
兼任	講師	杉 律子 (50) <令和5年4月> 学士(芸術)
		ショップマネジメントⅠ ショップマネジメントⅡ
兼任	講師	谷奥 孝司 (63) <令和4年4月> 文学士
		ビジネス法規入門 イベントプロデュース論 イベントプロデュースプロジェクト
兼任	講師	早川 滋人 (58) <令和4年4月> 修士(文学)
		心理学
兼任	講師	林 泰子 (64) <令和4年4月> 修士(教育学)
		情報処理
兼任	講師	村田 浩子 (60) <令和5年4月> 学術修士
		染色演習【隔年】
兼任	講師	森 治子 (53) <令和4年4月> 博士(家政学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	修士(文学)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	田島 等 (64) <令和4年4月> 芸術学士
		ファッションマーチャンダイジング
兼任	講師	谷奥 孝司 (63) <令和4年4月> 文学士
		ビジネス法規入門 イベントプロデュース論✖ イベントプロデュースプロジェクト
兼任	講師	早川 滋人 (56) <令和4年4月> 修士(文学)
		心理学
兼任	講師	林 泰子 (65) <令和4年4月> 修士(教育学)
		情報処理
兼任	講師	森 治子 (53) <令和4年4月> 博士(家政学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	修士(文学)
		フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	田島 等 (65) <令和4年4月> 芸術学士
		ファッションマーチャンダイジング
兼任	講師	菅本(谷口) 祐子 (44) <令和5年4月> MA Fine Art(英国)
		デザイン論
兼任	講師	杉 律子 (50) <令和5年4月> 学士(芸術)
		ショップマネジメントⅠ ショップマネジメントⅡ
兼任	講師	谷奥 孝司 (64) <令和4年4月> 文学士
		ビジネス法規入門 イベントプロデュース論✖ イベントプロデュースプロジェクト
兼任	講師	早川 滋人 (57) <令和4年4月> 修士(文学)
		心理学
兼任	講師	林 泰子 (66) <令和4年4月> 修士(教育学)
		情報処理 情報社会論
兼任	講師	村田 浩子 (60) <令和5年4月> 学術修士
		染色演習【隔年】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西尾 圭一郎 (45) <令和5年4月> 博士(商学)
		ライフ・ファイナンシャルプランニング
兼任	講師	中平 万里歌 (28) <令和4年4月> 学士(国際英語)
		インターネットビジネス SNS起業プロジェクト
兼任	講師	脇原 大輔 (41) <令和5年4月> 学士(情報科学)
		映像デザインⅠ(実習) 映像デザインⅡ(実習)
兼任	講師	齋藤 浩文 (59) <令和5年4月> 理学修士
		情報社会論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西尾 圭一郎 (45) <令和5年4月> 博士(商学)
		ライフ・ファイナンシャルプランニング
兼任	講師	矢嶋 聡 (43) <令和4年4月> 修士(経営管理)
		簿記会計実務Ⅰ
兼任	講師	吉田 みゆき (62) <令和4年4月> 短期大学卒
		ビジネスマナー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	西尾 圭一郎 (46) <令和5年4月> 博士(商学)
		ライフ・ファイナンシャルプランニング
兼任	講師	脇原 大輔 (41) <令和5年4月> 学士(情報科学)
		映像デザインⅠ(実習) 映像デザインⅡ(実習) プログラミングⅡ
兼任	講師	矢嶋 聡 (44) <令和4年4月> 修士(経営管理)
		簿記会計実務Ⅰ
兼任	講師	吉田 みゆき (63) <令和4年4月> 短期大学卒
		ビジネスマナー

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新力の授業科目名を記入するとともに、下段に

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

<p>・令和4年度就任 小笠原 寛夫講師（兼任から専任に変更）</p> <p>・氏名の変更（戸籍名の記載漏れ） 河村 梨花から河村（江崎）梨花に変更</p> <p>・学位名の変更 柚木 たまみ（修士（教育学）取得）</p> <p>・准教授から教授への昇任 久米 央也教授</p> <p>・年齢の記載誤りによる変更 北 憲一講師、早川 滋人講師</p> <p>・就任予定年月の記載誤りによる変更 西尾 圭一郎講師</p> <p>・教育充実のため、担当者として追加（新規開講含む） 小笠原 寛夫講師：コンピュータリテラシー（データ処理）Ⅰ／コンピュータリテラシー（データ処理）Ⅱ／地域貢献演習Ⅰ／地域貢献演習Ⅱ／SNSⅡ／SNS起業プロジェクト（担当者変更） 小山内 幸治特別教授：インターネットビジネス（担当者変更）／ライフ・ファイナンシャルプランニング（担当者変更）／イベントプロデュース論／データサイエンス・リテラシー 山本 洋明講師：SNSⅠ（担当者変更） 矢嶋 聡講師：簿記会計実務Ⅰ（クラス編成の都合により追加） 吉田 みゆき講師：ビジネスマナー（クラス編成の都合により追加）</p> <p>・講師就任辞任による担当者変更 西尾 圭一郎講師（兼任）「ライフ・ファイナンシャルプランニング」を小山内幸治（専・兼任）に変更 中平 万里歌講師（兼任）「インターネットビジネス」、「SNS起業プロジェクト」を小山内幸治（専・兼任）、小笠原寛夫講師（専任）に変更</p>
--

【令和5年度】

<p>・学位名の変更 伊澤 亮介（令和5年3月、博士（言語文化学）取得）</p> <p>・令和5年4月 助教から講師への昇任。 灰藤 友理子講師</p> <p>・定年退職による職名の変更 山中 博史講師（兼任） 深尾 秀一特別教授</p> <p>・講師就任辞任による担当者変更 篠 直樹講師（兼任）「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」を篠 寛美特任准教授（兼任）に変更 木谷 康子講師（兼任）「インテリアデザインⅠ（理論）」を名和 宏晃講師（兼任）に変更 木谷 康子講師（兼任）「インテリアデザインⅡ（演習）」を河本 浩司講師（兼任）に変更 濱地 絆一講師（兼任）「フードコーディネーター論※」を内田 茂豊講師（兼任）に変更 海津 比呂可講師（兼任）「フードコーディネーター論※」を鎌田 勇講師（兼任）に変更 齋藤 浩文講師（兼任）「情報社会論」を林 泰子（兼任）講師に変更</p>
--

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)」の設置の場合、大学設置基準第四十二条の三の二(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
6	2
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
4	0	1	1	6	0	4	0	2	1	7	0
(4)	0	(1)	(1)	(6)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
4	0	2	1	7	0	4	0	2	1	7	0
[]	[]	[1]	[]	[1]	[]	[]	[]	[1]	[]	[1]	[]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{6} = \boxed{116.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{2}{7} = \boxed{28.57} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
--

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」
--

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目
		計	#VALUE!	科目	計	##### 科目	計	##### 科目	計	##### 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和4年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

□ 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和5年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
〇〇	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇	科目	必修	〇〇	科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇	科目	選択	〇〇	科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇	科目	自由	〇〇	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和3年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 【届出】 遵守事項	・発足時に本学の定年規程によって退職年齢を超える2名の教授については特別教授として勤務を継続している。この2名以外に完成年度前に定年を迎える専任・兼任教員は存在しない。また、本学科のための専任教員として本年4月から2名の教員（講師）を採用した。（4）（5）	履行中
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年)	・教育内容の充実等を通じ、入学定員未充足の改善に努めること。 (デジタルライフビジネス学科) 【AC】 指摘事項 (改善)	・令和5年度のデジタルライフビジネス学科の入学者については定員の30名が入学した。引き続き、入学者が確保できるよう、教育内容の充実を務める。	履行中

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）（5）」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<デジタルライフビジネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
施設・設備 図書 90,410冊	令和3年度及び令和4年度に大規模な蔵書整理及び書庫点検を行ったため、2,157冊減書した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>デジタルライフビジネス学科に科会を設置した。専任教員は当学科の科会及び連携協力学科の科会に出席している。学長及び教授、准教授、講師、助教で構成する短期大学の教授会には全学科の教員すべてが出席する。また、学内の企画委員会、教務委員会、学生委員会、キャリア支援委員会等には学科選出の教員が委員として運営に携わっている。</p> <p>FD、SDについては、学内に設置された高等教育開発センターが中心に学内研究会等を実施している。FD学内研究会では、新任教員の研究内容紹介、授業時の工夫、ICT教育利用、シラバスの作成方法など学内外の講師による講習をとおし、授業・教育方法の改善を行っている。令和4年度も4回のFD研究会を実施し、令和5年度も同様に企画している。SD研修についても例年学内研修会を学園すべての職員を対象に4回程度開催している。また、令和4年度は学外講師によるアカデミックハラスメント防止についての研修も実施した。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>月1回定例（第4木曜日）の科会を開催している。基本、全教員及び学科事務職員が出席している。定例教授会は月1回（第1木曜日）開催され、全教員が出席している。その他、企画委員会、教務委員会、学生委員会、キャリア支援委員会が月1回開催され、全学科から各1名以上の教員が参加している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科会の審議事項（規程より転載） <ol style="list-style-type: none"> (1) 学科長候補者の推薦 (2) 科の特別予算案の立案 (3) 学長より要請のあった場合、選出される各種委員の候補者の推薦 (4) 国内研究員の候補者の推薦 (5) その他、科の運営に関する事項 ・教授会の審議事項（規程より転載） <ol style="list-style-type: none"> (1) 入学及び卒業に関する事項 (2) 学位授与に関する事項 (3) 教育課程の編成に関する事項 (4) 学生の学修評価に関する事項 (5) 学生の賞罰に関する事項 (6) 学則その他の規定に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>新規採用者には、学校法人純美禮学園及び滋賀短期大学として「令和5年度新規採用職員研修会」及び「新規採用者対象事務局ガイダンス」を実施した。また、教務担当の学長補佐から教務に関する説明を行った。</p> <p>また、令和4年度のFD研究会は以下のとおり実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月7日(木) 授業で活用できるデジタルコンテンツの作り方 9月1日(木) オンデマンド授業のための教材開発について 12月1日(木) シラバス作成方法について 2月2日(木) ICTを活用した教育内容の改善「やさしいSPSSの使い方」 <p>b 実施方法</p> <p>対面で実施している。</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>学内で実施されるFD研究会、SD研修会等には、毎回、ほぼ全員の教員が参加している。</p>

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

研修内容を踏まえ、各教員が教育・研究の改善に取り組んでいる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期・後期に受講者10名以上の授業科目を対象に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートの結果は速やかに教員に返却し、また学生に対して学内ポータルで公表している。教員は今後の改善等を求めたコメントを作成し、コメントは印刷製本して専任教員に配布している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

デジタル社会の到来を迎え、生活にもデジタルテクノロジーが浸透するとともに、ビジネス現場においては、DXによるビジネスモデルの変革の必要性が叫ばれている。きたるべきSociety5.0においては、社会全体でデジタル化を意識した新しいライフとビジネスへの取組みが必要である。本学科は、新時代を意識しながら、生活とビジネスの基礎を身につけ、データサイエンス分野、デジタル分野、ものづくり分野の知識やスキルを学び、高度なデジタル社会の中で、それらを活かして活躍できる人材を育成することを目的としている。

設置の趣旨や目的を達成するために、カリキュラム・ポリシー、実習の実施方法を含む教育方法、履修指導方法に基づいた教育・研究を実施している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和6年8月 公表（予定）

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（令和5年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和4年度に一般財団法人 大学・短期大学基準協会の認証評価を受け、適格と認定された。次回は令和11年度の受審を予定している。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ ~~無~~]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ~~公表後3ヶ月以降~~]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ ~~その他（ ）~~]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。